



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1 / 25

今日、私は、広島と長崎に落ちた原爆の事を知りました。

原子爆弾は、人の想像もできないくらいの、
悲しく、悲惨な出来事になる事わかりました。そして実体験した方の話でいた事が聞けて、改めて、原子爆弾とは、たった数秒すなわち、元のようにはなくなり果すすなわちを失うような物という事がわかりました。

けれど最後にその原子爆弾は今でも存在するという事と、広島の前爆ドームで展示されている物と比べて、『きれいすぎる』といった言葉にはおどろきました。あれが一番おそろしかった姿だと思っていました。

けれどあの悲惨な写真より、ひどいという事では、絶えられませんでした。この原爆の事について、聞き、こんな生やさしい物ではないという事が、よくわかりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、今回の先生の特別授業を受講して、戦争当時の原爆が投下された時の被害をくわしく知る事ができました。マカや教科書の資料を見た時とは違い、実体験でとても現実的だったので、「気持ち悪い」とかそういう感情ではなく、「おどろき」や「初めて知ったよ」という感情をもちました。原爆の事をあまり知らなかったのですが、今回の授業でたくさん知る事ができました。特におどろいたのは、広島に投下された原爆「リトルボーン」です。たった3.2m程しかない爆弾が、38万トに被害をもたらしていたことを考えると、とてもおどろきます。太陽よりも熱いものか、たった600m上にあると思うとこわくてろくどしきです。当時の人たちは何も知らないのに、爆弾がとつて上空からおちてくると考えると恐ろしいものになります。また、衝撃波の速さが毎秒440mというのにびっくりしました。音速は340m/秒なので音速より速いと考えると人間には感じられない速さだと思えます。私は今まで戦争のことをあまり知らなかったけれど、今回の特別授業でくわしく知る事ができました。このような戦争・原子爆弾の被害は語り継いでいかなくてはならない役目として、しっかりと理解して次の代に伝えていくようにしていきたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は池田貞徳さんから特別授業を受講して、
たくさんのお話をしました。今回、池田義三さん
の体験の話について聞かせてもらいました。
昔の広島の写真（原爆前）など見て、
この時生きていた人たちがとても怖いので、
今の広島とくらべて、とても焼けはてていたの
で、びっくりしました。池田義三さんの体験の話
も聞き、その時のことをそうぞうしながら聞か
ました。とても難しく、少し分からない所もあり
ましたが、原子爆弾の怖さを知り、ぞっとしま
した。3分間のビデオではアメリカ軍の飛行機
が飛んでいて、上からリトルボーイが落とされて
いるのを見ました。落ちた瞬間あたりは煙でま
い、どんどん煙が上がっていき、きのこ雲にな
っていき、リトルボーイの力がすごかったです。
そして、とても怖かったです。最後、池田義三
さんのビデオ、手紙を聞き、義三さんか
とてもよかった気持ちと考え、悲しい
気持ちになりました。知らないとき90分
間の中で、広島のことを知れたので良
かったと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

ぼくは、広島に行ったことがあります。

そのとき、資料館でろう人形を見ました。そのときこわくて、目をそむけてしまいました。

けれど、池田さんの父が「あんなやさしいものではない」と言っていてびっくりしました。

その他いろいろなことを聞いてよかったです。ではないけどよかったです。

この原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受けて、ぼくは、あらためて、戦争のこわさ、原爆のこわさを知って、戦争が大きらいになりました。

日本も、これから戦争はしないでほしいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は実際に被爆した方の話を聞いて改めて「戦争はひたんど、二度とくりかえしはならないものだ」と思いました。また、義三さんが体験された話が書いてある本が今はもう本屋さんにない、ということも聞き、なぜそんなに貴重な話をかくとすると、不思議に思いました。戦後70年過ぎた今、被爆者が高かへり、戦争の話を詳しく聞くのが難しくなっているのにその現状はおかしいと思ひました。私は今日の授業を通して学んだことを忘れず、次の世代におつないでいかなければ「ならないのだ」と感じました。

例えば他の被爆者のしょうげんです。全ての話を共通し、人が一瞬で消えた、ということも知りました。その消えた人達の思いを考えると、悲しくなります。「死ぬ」「苦しい」「あつり」と考える暇もなく、夏の日、子供とお母さんと歩いてた時、会社が閉めるのを待っていた時、一瞬にして殺される…。もし自分だったら、もし今起きたら…と考えるとすごく悲しく、怖くなります。私は、いつ死ぬかわからないからこそ今を、人生を大切にしたいと考えました。

もう一つは助かった人の話です。爆心地から150mにいた人でも、コンクリート造りの丈夫な建物の地下のトイレにいて助かった人がいると聞きました。また、原爆から6日(?)たっても傷口もおさらず生きていた人の話も聞きました。助かったのは良かったと心から思います。でも周りの人達は、友達、家族は…死体を残さずなくなったのです。それは人だけじゃなくて、自分も。傷口からウジムシがわきだしたり、放射線・放射能による被害で原爆病にかかり、命をおとししまったり…。とてもではないけれど生きているのが嫌になると思ひました。

私は今日の授業で「かわいそうだな」「かわいな」「二度とこんなことになりたくないな」など、いろいろ話を感ひました。くりかえしはいいから、この出来事を次の世代にも語り継いでいってほしいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今日私は、先生の話聞いて、原爆の恐ろしさを再度認識しました。先生の父親が実際に体験した話という事で、とても詳しく原爆について知りました。なので少し生々しい部分もあつたけど、それにより知らなかった事を教えて頂きました。

まずおどろいたのは、原爆の被害に会った方が、人の形を成しておらず、道のあちこちに居る事です。最後の力を振りしぼって「兵隊さん... 助けて...」と訴えている人全員を助ける事が出来ずその場所を立ち去った兵隊さんは「全員を助けた... けど助けられな...」と... 何とも言えな... 心境だ... と思います。次におどろいたのが、原子爆弾の威力です。一瞬にして人々の水分を蒸発させ、体を炭のようにしてしまふなんて、ある意味すごい... と思います。

原子爆弾は、人類が所有するのは危険だ... と、私は思います。亡き父の想いを胸に、私達へ原爆の恐ろしさを教えてくれた先生に感謝し、これからもそれを忘れな... ようにします。



名前は裏面に記入してください

原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

表

私は、広島^{ヒロシマ}の原爆^{ヒロシマ}のことは一度だけ本を読んだ
ことがあります。

けど、どのほどの被害^{ヒガイ}があったのかは、よく知りません
でした。

被爆^{ヒバク}した人達のお話は耳をふさぎたくなるような
話ばかりでした。

でも、実際^{じっし}ににそういう事が日本^{ニッポン}でおこった。

と、いう事をやっぱり、しっかりと受けとめないと
いけないんだ... と思いました。

もし後世^{こうせい}にまた戦争^{せんそう}というものがおこるかは
わかりません。だけれど私はもう二度戦争^{せんそう}という
おそろしいものはあってはならないと思います。

後世^{こうせい}に戦争^{せんそう}というものをさせないためには
自分が今^{いま}できること知り精一杯^{せいいつぱい}その事に
と向き生きていくことだ"と思います。

皆^{みな}が安心して楽しく暮らせる世界^{せかい}を
つくっていかたいと思います。

貴重なお話をありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日わたしたち、原爆特別授業でわかりやすく話してもらい戦争のこわさを改めて知りました。7000人の少年の一部を犠牲にしながら生き残った17才で「たいおを」とめぼくと5才がかわらないのに原爆によって七くなった人たちの死体を見つけたら「絶体で」きないと思いますそれこそ70年前の人達が生きていたと思うことがなくなりました。話を聞いて原爆のおそろしさを知り本当に戦争がかった時代に生かなくてよかったです。このような体験をさせていただきありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

今日ぼくが感じたことは原爆はいなくがとて
強くてとても辛い物だとはいえませんが、

人が一瞬で灰になりひらぐやけはがれてボロ
ボロになりとても辛い事が起きました。そうゆう人を
思うとほんとうにむかたんだらうと思いました。

た、た一つの爆弾でたくさんの方が死んだと思う
と、悲しい事だと感じました。その爆弾が三つも
落ちたと思うと、こおくなりました。

今の日本はとても平和なので良かったと思いま
した。

これから日本は平和がいてほしいと思いました。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1つ目は、この戦争学習で思ったことはありますか
一つ目は原爆のおそろしさです。テレビや言葉で「原爆はど
ても悪い。」というのは何度も聞いたことはあるけど、
具体的に何か「悪いのか」を聞いたのは始めてたため
「改めて悪いな。」と思いました。

2つ目は、義三さんが被爆者の人形を見て、「きれいな人形」と
言っていたことです。私はその人形が「汚い人形」になってしまっ
た。これがあると、思っていました。あれが「汚い人形」と思っ
ておひらきました。

3つ目は、私たちも原爆のおそろしさを次の世代に伝えていかなけれ
ばいけないことです。今日原爆先生に習ったことを話す機
会があれば、話して原爆のかわさを伝えていこうと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは今回の特別授業を受講して、
原子爆弾で14万人が亡くなった
ことにおどろきました。そして、先生が
おっしゃっていたことが日本でおきた
こととは思えないうらみさんを
出来事だと改めて思いました。
そして、原子爆弾のおとされ方が思っ
ていたよりすごかったです。

そして60ぐらりのウランで広島が
あのような所になったなんて思うと
おぼくはびっくりした。どうなっていた
かと思うと、さむけがしてきます。

またラジオソングとゆう物を
パラシュートにつけておとしていた
ことにおどろきました。

先生が話してくれたことのような
ひさんな出来事外もこうなほうに
ゆーのをおぼく国としてし、か
このことをおぼえて他の友達にも伝えられよう



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は池田真徳さんから特別授業をして
池田真徳さんの父義三さんが体験は原爆で
義三さんが十七歳で軍隊に入ってたのびっくり
しました。昔の原爆ドームの写真を見て
原爆を受けたのに形が残るのは
とってもすごいと思いました。あと階段に
すわっていた人が衝撃波できえてしまった
のでよ、ほど強い衝撃波を受けたんだ
と思いました。原爆のあつさが太陽より
もあついで言っていたのでとけるよりもきえ
るのでえっ?と思いました。最後の我三さんの
ビデオでその時のことを言っていてビデオを
ながしている時こんなにかつたんだ
なと思いました。そして資料館で見に行くと人
形を見た時のひと言「きれいすぎる」と言った
言葉で被爆者は人形以上にひどいからなんだと
思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

ぼくは、今日の5.6時間目に原火暴のことをいろいろ学びました。原火暴のことを学んで思ったことは、原爆先生の話をきいたら原火暴のおそろしさをしりました。原爆によてたくさん人の命がなくなつたので原火暴は、残さなくていい、たいてい二度と同じことはしてほしくないと思ひました。

原火暴先生のお父さんの話は、とても生々しくとてもかわたしとても大変なたいけんをされたたがなあと心に残りました。

今日の授業をきいてあらためて原火暴は、でたたいにつかては、いけないと思ひました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今日、原爆の事を教えてもらって

戦争は今後絶対にしてはいけない

ことだということに改めて思いました。

原爆で亡くなった方、原爆病になられた方

の思いを今後自分たちか受け継いで

いかないとためたと思ひ、今後、日本で

戦争をしないようにやれることはや、してい

たいです。

今日、たくさんの方の写真を見せていただき

思、たこともあつたし、たくさんの方の資料や

説明で今まで知らなかつたことが知

れたのでよかったです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは今日の原爆先生の授業を受けて思ったことや感じたことがあります。まず原爆は悲惨でとても恐ろしい物だと分かりました。原爆投下の当時の様子を先生は皮膚がはがれ落ち生々しい姿の被爆者達がおお勢いたということを教えてくださいました。また被爆者達が原爆の熱線に焼死した人達もたくさんいたということも分かりました。そのことから原爆は多くの人の命を奪うものだと改めて実感しました。原爆投下されてからも恐ろしい放射線と原爆病に苦しむ人や生存していても衝撃波で家を失った人もたくさんいました。そのことから家族や家をなくした人がかわいそうだなと思いました。原爆投下からの広島の様子は約3000℃の熱で熱せられ人々は次々に灰の固まりになってしまいました。金矢がとけるのは1500℃なので人は一瞬で体中の水分が蒸発してしまい消えてしまうのです。たった一つ原爆で14万人という尊い命が亡くなったので原爆の恐ろしさが自分にも伝わってきました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1/25

私は4年生の時に 広島に行き、また 原爆を体験した方の本を読んだ事がありました。でも今回 授業を受講し、まだまだ知らない事がたくさんあり原爆のひびきをあらためて感じました。

1つ目は、原子爆弾の強さです。ゴルフボール1個分の大きさであそこまで広い範囲に被害が出ます。それに現代では当時の1000倍の力があるものがつくりだされています。あんなに小さいのに、一瞬にして建物を壊せたり、14万人もの人の命をうばったり、人が人にはみえない姿になったり、とても怖いものなんだなと思いました。2つ目は、原爆を落とされた人達の人生や感情などを奪う事です。これからの未来があったのに、亡くなられた方や、今でも原爆病や不自由な体でいる方も、池田先生のお父様の様に死体への慣れ。他にもたくさんあるだろうし、私が想像出来ないものもあるだろうけど、一つ言えるのは、決していけない事だという事。たった1回の事で人の人生を軽く奪う原爆はもうあってはならない事だし、許してはいけない事。私達は経験できてはいないけれど、この言語は、生きていく中で伝えていかなければいけない事だと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

話を聞いたことが、全くしやうけ"ま
 的でした。被爆した人々の次が、
 話を聞いた時に頭の中に浮かんで、
 とても、よか、たです。。
 でも、それが70年前の現象で、
 話をしていた方々のお父さんが体験
 した事なのだから、受けとりました。
 原爆がどう下された後の町の様子
 は、本当にひどい事なのという事を
 実感しました。
 あと、原爆のつくり、ま"さなを
 学習できて、とても良いことを学習
 できました。
 中心部が約100万というわけには、
 本当におどろきです。
 30000でも、多いと思います。
 人間が作ったものとは思えません...



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

実際に被爆した人の生々しい話を聞いて、
そのひびきを聞いて、何とも言えぬに 悲しいかな
何ともいえない 気持ちになりました。ぼくやお父さん
の世代は受けたことの無い苦しみ の話を聞いて、
貴重な体験を受けることができました。

話を聞いていいる最中、何度も泣きそうになったのを涙を
こらえながら聞いていました。原爆を受けた被爆
者の方々がいなくても、原爆そして戦争の悲しさを
忘れてはいけぬ と思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

ぼくは今日の授業を通して思ったことは、
原爆が爆発したときの中心のおんどがなんと
100万℃という太陽よりおっくて、とてもま
るいものだとしりました。また、牛の皮など
がまけたり、体の中になじむしがいいるな
んてびっくりくりしました。もしぼくその
時代に生きていたらとかんかえると
こわくてたまりません。そしてこの日
時代に生きていた人は、すべしとおもいま
した。またこのゆきかいかあ、たう
戦争についてしらべてみたい
です。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ほくは、原爆について、改めて
 ごあいさつを思いました。原爆は、関係
 のない人まで、まきこみ、多くの人が
 死んでしまったのは、悲しくなりました。

エーラ・ガンや、リトルボーイ、など聞いた
 ことはあった言葉でしたけど、先生の
 の言葉を聞いて、わからないところなどが
 色々とできて、ぞくぞくしてしました。

原爆によって、3つのことが出てきます。
 「熱線」・「衝撃波」・「放射線」
 熱線にあたりると人間は体の水分が
 しょうはつしてなくなってしまう。

衝撃波は、二回もは返ってくる。

放射線は原爆病です。

まかたがた今原爆についてもっと
 知りたいなと思ひました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

僕は、原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受けるまで、教科書などで習った日本の戦争を外から、(現在の戦争を体験した事のない人から)見た目線で考えていました。ですが、今回の話をきいて、戦争を内側から見た目線の話を知ることができました。

ですが、僕が想像していた程、なまやさしい物ではありませんでした。血や、たれさが、た皮膚など、簡単に言ってしまうは、「グロい」と言う感じでした。ですが、実際には、「グロい」の一言では、片づけられないのだと思いました。なせなら、世に言う「^{命を落とす}ヒビカ」^{町全体に}山の様にいるからです。しかも、生きている人の傷口から、ク^いム^じが^いわ^いてくるなんて、もはやコワイし、自らの身の危険すら感じていると思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

僕は戦争学習で学んだことと話を聞いて
気付いたことは、まず一つめは僕たちがまた戦争
のことをよく知らなかつた時の話を気付いたことが
あります。なぜ戦争は多くの死者やけが人を
出すため戦争はしてはならないと僕は話を
聞いてそう思いました。二つめは、なぜ争い
などをして町や家をおろすのだろうか。同じ人類
だから仲よくなればよいと思いました。ですが戦争
は多くの人を失うことがあるのでこれからはお
さない?ほいと思はす。なぜなら大切な人を失うからで
す。戦争のことを教えてくれた池田先生にかん
じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

僕は原火暴先生の特別授業、池田眞徳先生の授業を受言講して改めて思った事があります。やはり原火暴は怖いという事です。そして池田先生が言っていました。博物館にあつた当時原爆の影響を受けた人を再現した人形を「きれすぎる」と言っていたのにおどろいてあの人形でも怖いなぁ〜と思うのもっとひさんだつたと思うととっても恐しいです。

そしてもう一つ僕が恐しいと思った事があります。

それは原火暴の中心等の温度です。風呂の42℃でも熱いと思うのに100℃は想像すら出来ません。火暴心直下であるところが3~4000℃はもうヤバイと思います。

池田先生の授業で原火暴の事について改めて知れたのでよかったです。

本日はありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、戦争学習が授業では学ぶことのできないことをたくさん聞かせて頂き、戦争の恐しさを改めて感じました。

お話の中で特に驚いたことが2つあります。1つ目は、原子爆弾投下都市には3つの条件があり、その条件に当てはまった所は原爆を落とすということと、実際には6つもの都市が候補にあがっていたということです。2つ目は、原爆のいりよくです。原爆によって熱線と衝撃波が降り注ぎ、親子が一瞬で消えたり、座っていた人の黒いシミだけが残ったという話を聞きました。私には想像もつきませんでした。また、大量に出た放射線によって、たくさんの方が亡くなり、今も大勢の方が苦しんでいるという話から原爆のすごさが伝わってきました。

池田義三さんの体験のお話の中には、爆心地に近づくと歩いている人は人間の姿ではなくなっているという話を聞き、助けてもたれた皮膚が取れてしまう人々の姿を見るというのはとても辛いことだと思いました。

戦争学習を通して、絶対に戦争はしてはいけないと再確認することができました。貴重なお話を聞かせて頂き、本当にありがとうございました。



名前は表面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、原爆先生に原爆についてたくさんのお話を学びました。しん徳先生の父が原爆を体験した人で、原爆のお話を本にした一部を聞きました。原爆が落ち、人々が皆、手をななめ前にぶら下げて、助けろ...と言ってくるのは、とても怖いなあと思いました。そして、助けようと手を引、張ると皮膚がドロドロと落ちてしまひ、転倒する人がいて、お本当におこったとは思えないほど怖いのが原爆なのなあと思いました。

その原爆で亡くなってしまった人が、14万人もいて、広島は5人に2人が亡くなったと言っていて、おそろしすぎます。原爆は「エラ・ゲイン」という爆撃機に4つもこのせられていて、これが落ちてきたらやばいなあと思いました。

「エラ・ゲイン」という名前は千バット機長の母の名前と言っていて、びっくりしました。

原爆先生の授業をして、原爆のおそろしさを知りました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆の授業に向けて、こんなことを思いました。

1つ目は戦争のむごさについてです。原爆が落ちた瞬間 1度大きな
しょうげきがあり、2つ目は原爆リトルボーイがはねかえって爆発する

しょうげきでした。そして、その原爆の熱さは7000°なので、6000°の
太陽よりも熱いと聞いたときにはとてもびっくりしました。そして

原爆が落とされた広島の人口は35万人のうち、被爆者数24万人、
死者数14万人と5人に2人が死んだと聞いてそのくらい戦争には
すごい力があるんだなと思いました。

2つ目は原爆先生(池田さん)の話についてです。軍に入っていた池田
さんは特等合わせてマシナードラムかんに寄りかかっていたらピカッ!
と光り原爆が落ちました。そして、人々は地をくのように苦しむ姿を
どうすることもできずに見ていたと聞き、心が痛くなりました。それでも
池田さんは人々を助けて、とてもかっこいいなと思いました。

この原爆、戦争については絶対に忘れられないもの、そして、これから
あつてはいいものではないかなと思いました。



名前は表面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、2時間の特別授業でたくさんのお話を
学びました。池田先生のお父さんの体験談や、
原爆の色々な知識を教えてくださいました。

話はとても聞きやすく、細かくて、原爆が落ち
た時の様子や、被爆者達の様子が
とても想像できました。

最後の方にあった平和記念公園の人形を
見て、私は思わず目をそらしてしまいました。
けれど、それを「きれいすぎる。」と言っていた

池田先生のお父さんは、それ以上のつらい
思いをしてきたんだなと思います。

そして、その被爆者達はそれ以上の痛みを味わ
ていると思うと心が痛みます。

私は、被爆者のみなさんのためにも、授業を聞い
て終わらずに、今後にも伝えていきたいと思ひます。
貴重な体験ができてよかったです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

原爆先生の授業で先生の言合している世界に入った感じがしました。聞いているだけで戦争のおそろしさが伝わってきます。

一番、小布かったのは原爆が爆発した時の周囲の人の姿です。

手足が簡単に取れたり皮膚がはがれてたれさかたりしていたのがとてもいやでした。

60Kのウランの中で1Kのしか爆発しなかつたのに広島ががいぬつ状たいになってしまったのがとても小布かったです。

もしその時代に60Kのウランが爆発したら日本全体ががいぬつしていたかもしれませんが、だからもう戦争はしないでほしいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

表

池田さんの話を聞いてみて、私が思ったことは、
 原子爆弾投下都市の条件が①直径5kmを超えること ②
 平野であること、③空襲がなかったことが大きな条件。で
 言うことがわかり、良かったです。私は③の空襲がなかった
 ことが、このかなと思いました。候補には、た都中が
 ①広島 ②小倉 ③尾崎。横浜新潟、京都です。
 理由は、2つあります。1つ目、京都は、古い町並りで、古いビルが
 あり、除外。はかしたくない、と言うこと。2つ目は、
 日本人の感情、と言うことが理由まで聞いて良かったです。
 広島に、投入された原爆が「リトルボーイ」または「少年」と言
 うこともわかり、良かったです。1100メートルに原爆をぶちつけて
 おとすのは、ダメ、と言うこともわかり、良かったです。原爆を
 「ラジオソング」と言うこともわかり、時速300kmで横ばいに
 飛行しておとすことわかり、熱線は球形で9000度の
 温度があり100万と、いうこともわかり、衝撃波は、真上に
 球形で、たて物の中心温度が100万と強くこぼれ出すことわかり、
 放射線は、周りに、て来た、はかしたくないことわかり、
 数秒後にはくはって、淡をぶくぶくにぶくはかしたくないことわかり、
 はかしたくないで、はかしたくない、はかしたくない、はかしたくないことか

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

わかり、良かったです。池田さんの戦争の話が聞いて良かったです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は戦争の話を知ったことより、戦争の
戦争の怖ろしさを知りました。

納豆と原爆や空襲、とも怖ろしく、けれど
戦争は良くないことだと知った。私はま、
たくさん人の遺体など想像できません。

5人に2人戦争で亡くなり、建物など
も焼け、焼けるとしかない街は考えられ
ませんでした。「生きる」と、というよりは
簡単ではないことと知った。戦争の前の

原爆で一瞬にして、カリ壁もあつた建物が
戦争後には中にいた人は高熱により亡く
なってしまうとも前の建物がとは考え

られたいほど、壁も焼けるとし
と思った。今は戦争も日本はないし、

平和な国だと思つた。でもなかには

ほかの国などモトウガルから戦争は
分らない国だと思つていました。

今私たちにできることは「平和」を願うこと
しかできないだと思つた。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して思ったことがあります。それは
 原爆や戦争のことがより通じたことです。社会の授業でもやったし
 自分でもそれなりに知っていたりもしたけれど体験した人の
 話を聞くと、その考えは無くなりました。ぼくが考えたりするのには
 おそろしいものでした。原爆は多くの人の命をうばったものなのに
 おそろしいものだとさえ思いません。もしも自分の上へ原爆が
 降ってきたらと考えると、とてもひどく恐怖がしかありません。
 もし、原爆の衝撃からの加えでも大量の放射能で原爆病に
 なってしまったら、そこで命をおとすかもしれない。特別授業で
 原爆のいかに聞いていた。原爆「リトルボーイ」がとても怖いです。
 しかもウラン原爆の1kg、ゴルフボール1個の大きさで広島が
 吹き飛ばしてしまうのはとても怖いし、そのいかに通じてきます
 なんと広島、5人に2人が死んでしまった。たいていは
 驚きました。二度とこんなことが起きないように
 願っています。次の人達はこのことを忘れないように
 大人になった時、子供達に伝えていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆先生の話を聞いてとてもこわくて良くない事
だということが分かりました。空襲が起きる前と後と
比べると町の様子や人の様子、全てが変わってしまっ
てしまいました。大やけどを負った人など話を聞くだけで
こわいのにも実際はさらにこわいと思うので私は多分見る事
が出来ないと思いました。今回の期会で知った事が多
く、候補になっていた都市が意外と多くて驚きました。
横浜や新潟が候補になっていたことが知れたので良かったです。
心に残った所は爆心地から150mほど離れた所でも
生きていることが心に残りました。助かった人はとても運が
良いと思いました。けれど大勢の人が高熱のたつまきで
死んでいるという事実も知り戦争のおそろしさを改めて
分かりました。私は今回の授業で戦争は関係のない人、
多くの人々が死んでしまっただけでも悲しいことだと思っ
たので二度と起こしてはいけない事だと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生の特別授業を聞いて、原爆のおそろしさが改めてわかりました。戦争で相手の国を負かすためだとはいいても、あんなおそろしいものを人間が住む場所に落とすことができた人がいるなんて、信じられないうち思いました。非原爆のおそろしさがわかっていけるのに、まだ原爆を保有している国があって、そのうえ原爆のい力がさらに上がっていることがわかって、信じられないうち思いました。私は人が一瞬にして消え去ってしまうほどのい力をもつ原爆をどうして人間は作ってしまったのかと、思いました。原爆は作ってしまったらもう捨てることはできないので、原爆というものを作ってしまった人間は、これから原子力の保存のしかたをもっと考えなければいけないと思ひます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

原爆先生から、戦争の厳しさや平和の幸せさをくわしく教えてもらい、今、日本が平和であることはとても幸せなことなんだと改めて思いました。

私は、広島に行き、資料館や原爆ドーム、平和記念式典を生で見たことがあります。やっぱり戦争は、

とても苦しく 厳しいものだと思います。

資料館で生の皮膚や焼けた木などを見たとき、

私は、戦争が二度とあってはならないことだし、

とても苦しい思っかした人がたくさんいたんだなあと思

思いました。原爆先生も、戦争はとても厳しいものだし、

たくさんの方がなくなっていて、たくさんの方が苦し

生活をしていて、言っていたので、改めて戦争は

二度あってはならないものだと思います。

なので、私は今日本が平和でよかったと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原子爆弾は、パラシュートにつけられて落ちてきたと思
っていました。授業を受けてパラシュートについていたのは、
「ラジオガンテ」という物だから、たのびおどろきました。
「エノラ・ゲイ」という名前が、あからなが、たけど、
授業で、「エノラ・ゲイ」は、運転士のお母さんの名だから、意味と、
名前もつけた理由がわかりました。
原子爆弾投下の条件が、あって、候補になった諸市が、
もつもあり、たのびおどろきました。
原爆が、どんな物が、くちくち知れたので、よか、たびす。
人間が、音熱で、蒸発してしまうということは、はじめてして、
おどろきました。被爆率が、高かったのびおどろき
ました。アメリカは、先のことまで考えていたので、こわいと
あつたおどろきました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

ぼくは、原爆先生の話を聞いて、戦争のこの授業では習っていないことをくわしく知ることができたのでよかったです。また、授業では、原爆のことを「原爆、怖いんだな」と思っていたけれど、話や資料から、本当の原爆の恐ろしさや、原爆の構造などを知ることができたのでよかったです。

例えば、原爆は、熱線・衝撃波・放射線の三つのいっしょによつて、あらゆる物や建物を、こなごなにしたり、溶かしたり、人間を「原爆病」という病気にする、ということを知ることができたのでよかったです。

また、池田義三さんが体験した、当時の日本のこの話が、とても心に残りました。

今回の話を聞いて、ぼくも、実際に、広島のパズル記念公園に行ってみたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、特別授業を受講して、原爆の被害の大きさ、大変さ、苦しさが分かりました。この授業を受講する前は、原爆については、「すごかったんだなあ」としか思っていて、兵隊さんや被害者の人達の苦しさが、あまり分からずじまりました。けれど、特別授業を受講していると、原爆とはどのようなものなのか、どうして広島や長崎に投下されたのかという事が分かり、その被害の大きさを考えるだけで、震えてしまいました。その中でも被害者や兵隊さんの苦しさは、想像ができません。痛々しい事でも、兵隊さん達がいたからこそ、助かっている人もいます。もちろん被害者もいます。その中の被害者でも、生き残っている人がいると思います。特別授業で色々な事を教えてくれた先生以外の方のお話しも聞いて、原爆について深く考えたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆について学習して、原爆のおそろしさを知りました。先生が声で、原爆が来るときの音をや、してくれたとき、私はとてもおどろき、心臓がドキドキだ。たのど、本当に、その場にいた人は、とてもこわく、つらいんだ、と思いました。

原爆について私はなにも知りませんでした。重さが47、原爆を落とす場所の条件など、たくさんの事を知りました。落とす場所の候補として京都・横浜・新潟があり、とてもおどろきました。

原爆によ、て14万人もの人がかたくなり、てしま、い、とても悲しく、なせせくならないといけ、ないのかなと思いました。又、たくなり方が、消えてしまうという事は想像できないくらい、こわい事だなと思いました。先生がお話して、くれた、姉と弟の話で姉が生きていてとてもうれしかったです。弟がたくなり、とても悲しく、もし私の家族がたなると、想像すると、とてもつらか、

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

たです。この先、絶体に戦争をおこしてはいけなくて、とてもおそろしいものだ、と改めて知りました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生の特別授業を受け、戦争での事について、
お教えしてもらいました。先生のお父さんの出来事をききながら、
自分でこの時の様子、うき少し想像しましたが、
とてもおそろしく、こわかったです。でも多分、本当は、
私が想像したよりも、とおそろしくこわかったと
思います！ 私の祖母も戦争の時の話をたまに話して
くれています。祖母はとてもこわい思いをしたといっ
ました。人の手をつかもうとしたら、ひふがとれたり、
川の水がほぼなくなっていたりなどは、想像が
つきません。「ほぼしのかに」というまんがで人のひふが
とけていたりする絵があり、見たことがありますが、一度
見たら、忘れられず、今でもおぼえています。
でも、実際はもっといんしう的だったと思います。
最後の先生のお父さんのビデオ... 泣いていたのかとても
頭にのこっています。広島のはくばっ館の人が
ほのおにつつまれている人形を見て、「きれいすぎる」と
言っていたときいて、本当はどのくらいなのかと、
こわくなりました。先生にいろいろな事を教えて
いただき、感謝しています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、この言葉をきいてるだけでもゾッ!!として
しまような言葉でした。

この言葉をきいて、原爆なんかは、この文にあって
ばいけないと思いました。

なぜなら、人々がくるしみあるいは、死にいたって
しまうからです。

それも人がすみのようなものだけかのこととい
うことは、けしていいことではないからです。

私は、うらんというもののことを知りました。

たった1人なのに広島をやきつくしてしま
たら人々はくるしみひんがほぼないのに生き
るために、ななめ前にやっていたすけをもとめて
いたという言葉がとてひさんでかわいそうでし
た。

一生こんなことがおこらないといいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆の話も聞いてみて戦争の怖さを新たに知ることが出来ました。原爆の人々のその苦しい、悲しい気持ち、原爆のおそろしさがとても伝わりました。今ではテロや戦争が日本にないのも私達は体験もしたことがないので怖さを知りませんでした。けれど今回話を聞いて私は「戦争反対」とよく近くの場所でも戦争の体験をした人々を見かけます。私の祖母も色々な地域で戦争反対という言葉伝えていきます。祖母は、戦争は体験したことはないけれど母親と父親が体験したことあるそうで、戦争の苦しい、悲しい気持ちを聞いたそうです。

広島へ行く時は原爆ドームや他のお墓などへ行って手をあわせて帰るようになります。

戦争は絶対したくないという気持ちをもっと持ちました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は表面に記入してください

1
ほくは、最初題目が「70000
の少年ときいた時なんでも
うと思いました。最後の方に分
かりました。そして戦争の苦し
さが本当はもっと大変だと思っ
て。池田さんのすごく分かり
やすい話をきいてなんとな
く分かった気がします。たとえ
ば原子火暴弾投下都市の条件
など考えたこともないけれど
このじゅうこうをうけて戦争につ
いてちょっとものしりになったか
がしました。このじゅうこうをうけて
これからもっともっと戦争につ
いて考えていきたいです。
最後にとてもいい事、体験を
させてもらった池田さん本当にあり
ありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は池田さんの原爆の話聞いて、心に残ったことは、候補に広島、長崎以外に、横浜、京都などの都市があつたとは知りませんでした。横浜は私も家族と行くのでここが候補だったのかと思つた。この話が聞けて良かったと思つました。

原爆で全身やけどをしてしまった人の皮膚がめくれて肉が見えそうなくらいになつたり、など今の私達には想像もできないくらいのものでした。私は7000℃という感じのことのない暑さにこれ。原爆はいけなかつたと思つました。

今回、まじうな話が聞けて本当に良かったと思つます。昔はこのような事があつたとおぼえておきたいと思つます。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

池田貞徳先生の話をきいていると、
ことがわかりました。たとえば、原爆の名前
が「リトルボーイ」という名前が4mの高さから
おとしてなら、1のは「おとしします
そして、きゅうが「でききゅうの温度は、100万°
でした。

原爆には、3つの言葉があります。

1つ目は、●熱線

2つ目は、●衝撃波

3つ目は、●放射線です。この3つが「原爆
のもとです。

原爆ドームの本午向の名前をほくは、ほい
めでしりました。その名前は広島県産業奨励館
というとてもりっぱな名前でした。そして
りっぱな名前のでした。

でもか「原爆で、あせ「あなすか「たになつて
ほしほした。さいご「11kgというすうじ
は、うらんという原爆のもとでした。
え、あて「原爆が「おちたのです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

普段の授業では知れないことを原爆先生の特別授業で、知ることができました。現地の様子を感じたり、想像させてくれるような話し方で、もうすごく現地はさくさくしたんだなと知りました。原子爆弾投下都市にどうして広島、小倉、長崎が選ばれたか、エノラゲートの名前の理由、広島に投下された原爆「リトルボート」の事など、この特別授業で初めて知った物がたくさんありました。原爆先生のお父さんが語ったことや手紙にかいてあったこと、すべてが、実体験者が思っていることなのだなと感じました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原子爆弾についてくわしく説明
 してください。たとき、ぼくはごんごうの条件
 というのがあって原子爆弾投下するのには
 しょうけんじじいというないんじかたより
 かたじけなく思いました。そしてほかには
 広島に投下された原子爆弾リトルボットの
 重さ4700kgをたしかめぼくはびっくり
 しました。そのほかには候補に選ばれた
 ところ、広島、小倉、長崎、
 横浜、新潟、京都があり、京都
 には原子爆弾ごんごうにさいてまごとい
 ぶたさいをけたごも、昔（か）の寺
 などがあつた。京都はなしになつたとい
 きいときこそ、はが、この寺はあ
 るんだと思ひました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

ぼくは原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して、

すごく矢張りな事を学びました。

授業で学んでな事を教えてくれました。

原子爆弾の構成や、どこから爆弾を

落とすなど、授業ではふられていない所を

学び感じました。本の文章を聞くと、すごく

この当時はつらく、爆弾が落ちた時はすごい

状況だ。た事が聞いて伝わりました。

戦争はすごく苦しく、悲しいものだ。という事を

改めて学びました。原子爆弾が落ちる音を

先生がやってくれた時、すごくびっくりしました。

話声だけだけど、本当に落ちる音を想像

すると、びっくりするほどに30秒なく倒れるくらいの高だと

思いました。一番心に残っている所は、原子爆弾

の力である熱線・衝撃波・放射線この3つ

がすごく、詳しく教えてもらい、すごくいい事を教わった

と思えました。そして、特別授業をしてくださった

原爆先生 ありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、戦争の事を、教えてもらって思ったことが
2つあります。

1つ目は、リトルボーイが落ちて来て、まだ人間の体
をした人たちは、どこに逃げたのかな?と思いました。
なぜなら、この学習で教えてもらってなく、興味がおい
てきたからです。

2つ目は、リトルボーイが、爆発したときのリトルボーイの
温度です。話の中で、太陽よりも熱いと聞いたとき
は、驚きました。

ぼくはこの学習を通して、やはり、戦争はあってはな
らない事だなと感じました。これからの、世界は、平和で
あってほしいなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは昨日の戦争学習であらためて、原爆の怖さ・おそろしさがわかりました。原爆投下時の様子が原爆先生の「カッ」という一言でつたあってきました。

原子爆弾投下の条件が「ろつもあること」がわかりました。しかも

候補都市が六つもあったのでとてもおどろきました。原爆が「熱線・放射線」があることは

しっていました。「衝撃波」があることが知らなかったのだからです。

証言など「ヤキコケ」の雲になった

理由が「分かった」ので「社会」について

もっとも「知りたいたい」と思いました。

ウランが $\frac{1}{60}$ kgしか燃えていないと書いて「すごい」がわかりました。

良い経験が「ついて」よかったです。

ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

その時原爆にあつた子供達はどんな思いで、どんな
気持ちで死んでしまったのかかわいそうだった。
今はアメリカとは仲が良ければいい昔はどれたけ
仲が悪かったかかわいそうだった。
一番心にのこつた話は爆発のいりよくです。
原爆先生は60kmの中の1kmだけしか爆発
したと言っていました。でも、もしもその60km
すべてが爆発していたら、その時の日本はどうなつ
ているんだろう。今の日本も何かが変わつて
いるかもしれません。
このような爆発でかんけいのなからた人
達もまきこまれしてしまった14万人の人が
かわいそうでした。
原爆先生の父さんが泣き鳴から話していた
気持ちかわかります。少し本当なのかなと
思った所もあったけど、でもきょうになつたと思つた。
これからの日本も戦争をなくして行きたいと、
思つた。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は表面に記入してください

ぼくは、原爆先生の特別授業をして、原爆を落とす目標とした都市が、6つもあったことが、初めて知って驚きました。

原子爆弾投下都市の条件があったことも、知れてよかったです。

投下された原爆の名前、長さ、重さを、知って、上空約10000mから落として、約4kmも進んで爆発することがすごいと思いました。原爆は、表面が7000℃で、太陽の表面より、1000℃近く熱いので、すごく非さんなんだな～と思いました。

あの原爆で、中心から150mの電話ボックスの地下のトイレの中にいて、生き残ったことが、きせきで、すごいと思いました。

爆発するのに、ウラニウムがえんしほする、と、爆発して、1つで、あんなに広いはんに、なら、60個全部が爆発したらものすごかった、と思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私は最初、原爆のおそろしさを全く分かって
いませんでした。ただ、社会の学習で原爆に
よってたくさんの方が亡くな。たということし
か分かっていほまてました。しかし、この特別
授業を受講した後は、原爆に対しての考え
が変な気がして、原爆先生のお話を
聞いていて一番おどろいたことは原爆の被
害が想像を絶するほど大きかたことだ
す。非^悲さんなことになるたとは聞いていまし
たが先生がお話ししてくださ、たことと、自分の
予想とは、かなり違いました。3000℃以上の熱線
で人々は、皮膚がただれ、真黒になり、赤い肉が見
えるほどたど聞いたときは、想像するたびにこ
わくてこれ以上聞きたくなかつたほどです。これ
を知ったことで、私は原爆はこの世にあって
はならないものだと強く実感しました。平和な
時代に生まれたことに感謝するとともに、子
孫にこの話を受け継いでいかなければな
らないなと思ひました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生(池田しん徳先生)の戦争の言葉を聞いて戦争で亡くなった人々の苦しさやつらさをしることかれました。しん徳先生の父、池田義三さんの実際の言葉も聞かせてもらって戦争の恐ろしさをしることかれました。「ぼくは広島島に投下されたリトルホーン」の言葉かとてもいじょうにうれしかったです。リトルホーンは事故によって落とされたリトルホーンには「ジョー」という機銃がつかっていたことを知りました。「ジョー」とは気圧や風圧などを測る牛のたて先は言い、ぼくは爆弾に(そんな牛のたて先)とすげえびっくりしました。しかもそのリトルホーンは飛行機並の速さで落とされたそうなので、ぼくがその土着にいたらショックで死んでたと思います。ぼくたちに戦争の言葉をおしえてくれてありがとうございます。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の話しを聞いて、思
 ったことは、広島にいた兵隊、土人の
 大変さが分かりました。あと、ビデオ
 を見て分かりやすかったです。あと、池田先生の
 の分かりやす、詩(おかし)ってき、分かりやす
 かったです。なにも、原爆が「落ちる
 ときのまよかけ」なと、か、とてもすごかった
 です。あと、クイズ「なと」色々あつたか
 かったです。でも、あ、は、い、い、に、の、に、
 たのか、池田兵隊、土人の、本人、え、え、の
 こと、よ、ほ、と、い、い、人、た、ら、た、ん、た、な、と
 思いました。池田さんが、お、ま、ま、か、い、
 話、て、い、る、の、も、ク、と、ま、ま、した。私は、池田さん
 たちの話を、せ、た、ら、に、あ、あ、あ、あ、して、こ、れ、か、い、
 ち、あ、た、し、た、ち、か、い、え、て、い、か、な、い、と
 たい、な、人、た、な、と、思、い、ま、した。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日、原爆のことを学んで、本当に大変だ、たんだ
 ということを改めて実感しました。

なにも関係のない人たちが、原子爆弾によって
 一瞬で、死んでしまったり、重傷を負ったりするとい
 うのは、ひどいことだと思いました。

アメリカ軍が、日本に原子爆弾を投下したあと、
 すぐに中国地方や瀬戸内海に逃げた。自分たちは
 助かるとしていいことに怒りの気持ちをもっていました。

原爆ドームの元の姿を見てから、原爆が投下された後の
 姿を見ると、衝撃波でこれにもくたかかしてしまうのか
 と思うと、想像するだけでゾッとします。

池田さんが、原爆ドームに訪れて、そこにあった体中に
 やけどを負った人の人形を見て、「きついすぎる」と言ったのか
 おどろきました。その人形ですら、皮膚がはがれ落ちてい
 て人間とは思えないような感じでした。なのに、これ、キリも
 っと大変だ、たんだと思います。おどろきました。

戦争は絶対にしてはいけないと思います。なにも関係ない
 人々がたくさん死んでしまうなんておかしいです。

これから、戦争の悲惨さを伝えていく予定です。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は社会で原爆をやっているけど"こんな'2時程もつが、
て原爆のはなしをくわしくきけるとはおもいませんでした。
特に、原爆がおとされた場所もくわしく資料をみなが
らできて、とてもわかりやすかったです。ほかにも、原爆を
おとすためにひっようなひこうきの名前や、広島に投下
された原爆の名前のゆらゝなど色々くわしくおそ
わってみて、いかいところいのがな、とおもいましたが、
たのしかったです。でも、はなしをきいていて、かたしいな、と
おも、たときもなんごがありました。そのとき、戦争のことを
よくわかんないが、た私は、戦争はや、ち、いけない、と
おもいました。今回やって、原爆のこわさと、戦争
は絶対や、ち、いけないという大切さをしりました。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は表面に記入してください

私は原爆先生のお話をきいて、原爆
はもうにとやっちはいけなにとだ
ということ学びました。
ひさいしがのくろしさがひさんさのこを
学びました。
今日、学んだことをうぎの人につたえ
ていきたいです。
私は原爆のひさんさにはだか「す」と
はなれるということか「い」ちばん
「い」ちばんと思いました。
やりたくないことを9日間つづけたら、
ずうとあるいて「たい」人だと思
いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の授業を聞いて、戦争はやってはいけなくてもおためしに思いました。戦争のひささん、原子爆弾の威力を話してくれました。原爆が落とされたときの人々の声がかけていた、といった、実体験の話がきょうがした。たけと「その中でもよくに頭」にのこ、ていることは、原爆が、上空600mでばしはつした原爆が横200mに広がって大きな球体のようになってばしはつして、さらに原爆の中での温度が100万度くらいで、でもふつきんだらうなと、思いました。そして広島に落とされたげんばしのときのウランニュークリアのものが、あって広島でばしはつしたときは60個中1個しかばしはつしてないのに、あの威力がでていて60個すべてがばしはつしていったら、きっとおがいにあったのが、島だけじゃあまなかな、たかもしれないと、思いました。今のまじつで日本は、原爆を落とされたら、終戦と聞きました。今戦争がおれば世界中が、ぜったいの海になると思っ、ま、そうなら、ないためにも、ぜったいの戦争は、やってはいけな



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆は、関係の無い人まで巻きこんでしまい、まきこまれた人も、意味もなく苦しめるものなという事が分かりました。そして、とても原爆が悲しき人なものであることをとても痛感しました。原爆がうば、ていく命はとても計り知れない程重いものであり、そして、その人をじわじわと苦しめます。もう、何があっても、どうなるにせよ、原爆だけは絶対に、むしろ、原爆、て何?」と言えなくらいの社会にしてほしいです。そして、そういう社会にしたいです。

このことも、後世へと、語りつがせていて、原爆のない、平和で豊かな世の中にしてほしいです。話を聞いた時に、胸が非常に痛くなる話でした。あの原爆が、たくさん人の命をうばっていったことをしっかりと知ることができました。

今、その原爆のせいで、病気で苦しんでいる人々がたくさんいます。そして、その体験を近い世代から僕たちが話をし、語り聞かせる後世に、後世へと、バトンをつなきたいと僕は思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、今回の特別授業で、今まで私が思っていた、「原子爆弾」のレベルをはるかに超えた、恐ろしい、怖いという言葉では言い表すことの出来ない、何かを感じました。「7000℃の少年」というのは、敵が落とした、「リトルボーイ」の事だと分かりました。さらに、原爆を受け、生き残った方も、後遺症に苦しむ事実があったことを、とても悲しく思います。今の素晴らしい日本がある裏側には、こんな悲惨で、無残な事があったことを辛く、悲しいと感じます。現在、唯一の被爆国でありながら、憲法に、「戦争、戦力の放棄」とうたっているから、若者を戦地に送ろうとしている事実も、どうしても止めなければと感じました。今まで日本で大きな戦争が無いのは、戦争の惨憺を体験された方がこうして語り続けていてくれるからだと思います。これから、日本に、世界に、戦争をしてはならないと語り継ぐ役目か、私達に来たと思っています。今から出来る事は、「戦争について考える」事。被爆に入て話せるのは、日本しか無いと思うので、戦争は絶対行っちゃならない事を、話し続けていきたい。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私がこの授業で一番、しゅげきを受けたこと。
それは、池田さんが原爆資料館でもらった一言
です。女の、2人がうでをななめ前にして歩いて
いる像を見たときは、本当に「う」とした。(ありえない...
こんな状態の人々が、沢山いたなんて...) 私は、
どう感じました。でも、池田さんは「生かしたい」と
感じていました。(現実はこのよりも、とひどいもの
だ。たのか...) 私は、とてもおどろしく感じました。
兵隊さん、助けて...。という呼び声に何もできな
い自分がどかたけ、悔しかたか...。自分の想像を絶する
戦争の話には、とり服かたちしました。
次々と語らゆる、おどろしい話には、たた「たた」
おどろくた「けて」感想もなにも、ないというのか？
正直な気持ちです。今回、お話を聞いて、私が「戦争
について感じた漢字文字は「壊」です。人々の心も、
思い出も...。なにもかもを壊す。戦争も原爆には、
改めて、本当に本当に怒りをかきました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆のことについて、よく知りませんでした。勉強する中で、広島・長崎などに、原爆が落とされ、多くの被爆者がでてしまった。という事実しかわからなかったのです。しかし、実際に特別授業を受けさせてもらって、改めて怖さに気がつきました。「怖い」という言葉だけが、けい、足りないような、いりよくにそれとする気持ちもありました。17歳、20歳などのまだ若い時に、あの、おそろしい原爆・戦争を体験したというのは、大変だったと思います。しかし、「大変」といっても、国の命令だから、ということでは逆えなかつたのも事実です。今は、もと科学技術が発達し、昔は出来なかつた「ウラン」も、今はすべてねんしょうできる技術があるとわかりました。

だからこそ、私達が、わすれなかつた戦争を起すような行いは、やめて、平和に暮せるように、気持ちをお互いに考えて生きていかなければならないと思ひました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

池田先生の話聞いていろいろな事がわかりました。原子爆弾投下都市を決めるのに、条件が3つもあった事、候補に京都や新潟、横浜もあがっていた事にびっくりしました。広島に投下された原爆に「リトルボーイ」という名前もあり、約4tもある事などがわかって良かったです。

心に残った事は、エノラ・ゲイという名の飛行機は、4tのウランを60kgももっていたのに1kgしか使っていた、という事です。

ウラン1kgで広島や長崎が壊れたのに、60kgも使ったら、日本が終わっていたのではないかと思います。

それと映像で見た、座っている人が一瞬で黒いシミに変わってしまうという所はとてもおどろきました。

広島市の人口は35万人。そして被爆者数は29万人で死者が14万人だと書いてありました。

死亡率が40%。14万人のうち2万人が足跡がたもな

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

おせほりになたという事がとても悲しいです。



じゅこ
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、今回の戦争学習で、全体的に印象に残るものになりました。教えるためにきてくださった原爆先生が、すごい...話すのが上手いな、と思いました。いっつもなごまきて寝てるのに、話すのを工夫して、こちらで大きな音を出したり、そこにいた本人の(被爆者)のこぼれを、自分で「私」と表して喋ったりすごいな、と思いました。また、私は自由研究の時に、遺品がある場所に行ってきました。そこには写真がありました。死体の山や、今日先生がい、てたおなかみんがほかにおちてるよさなのもありました。今日の話を聞いて、本物はもと戦争はぜんぜんかまものたんだな、と思いました。今は私たちの世代の男子が、将来軍に入らせられて戦場にいかなければならなくなるような時代になってきてますが、今日のほかを聞いて、絶対に戦争はしたくないな、と思いました。また、「死」も「命」についてその言葉にどれだけ重みがあるのか、考えさせられた授業でした。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ほくは、今日の戦争学習の特別
授業で原爆の恐しさを知りました。
たった1kgで多くの人を殺せる
原爆はこわいなあーと思いました。
あの池田よし三さんの体験談を聞いて
思った事は、トラックの運転手を池田よし三
さんの9人の部下たちも運が良かったた
め、と思いました。トラックで町を走行し
ているとき、人間の姿ではな
い人たちが町を歩いたり丸焼け
になって黒いけいにな。人たちが町にこ
りつかたりするを想像すると
気持ちが悪くなります。これからそんな
事にならないように戦争はした
くないです。



原爆先生の特^{じゆこ}別授業を受講して

表

名前は表面に記入してください

ぼくはあらためて戦争について学習しました。
「7000℃の少年」の意味をしるこくができました。
池田義三さんは17才で戦場に行った
そうです。義三さんは2班の班長でした。
ゴーンゴーンゴーンとも回ほどなたら一瞬で
あたりがひかりみえなくなりました。目か
せんせんがみえない中、トラ、ワの中にもつたそうです。
30m、100mと進んでいくと人だったのに、もう
人とはみえないくら皮膚がたれさが、ていったそう
です。助けて、助けてといて義三さんたちは
手そのはたら皮膚がズルとむけたそうです。
何回か動画がながれました。みんなが笑ってい
るときは、ヒカッ、ドン!!という感じで爆発
してました。広島では、5人に2人が死んでしまっ
てしまひ、死者数14万人被爆者数24万人でした。
戦争のことをおもいだすと、心がいそくなります。
戦争はけつしてやめてはいけなことを、おともなにも
得をしない。せうたんに戦争という言葉はとてまあねか
いたくなります。戦争をあらためて学習してきたりよかたです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原子爆弾投下都市の条件が3つもあるのにそれにてきした場所(県)が6つもあるのかびっくりしました。

題名の7000%の少年は、エノラ・ゲイという戦時うきから、リトルホーイ(少年)という原爆が7000%になることのことたこと分かってよかったです。

ウランの重さが全体が60kgでその中に1kgしかないので、多くの死者がでるなんて、原爆の中をすべてウランにしたら、日本の半分ぐらいがなくなるんじゃないのかと思います、ゾクッとしました。

「東京スカイツリーから直径200mの太陽がおちてくるのと同じだよ」と言われて夢にでてきそうて、それが本当におきたから、こわくなりました。

皮膚がはかれるのもこわくなりました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆のことはしっていたけど
はだしのげんのことを信じていたから。
話をきいて、ちがうということがわかり
ました。原爆はパラシュートにけつる
さ本でいかなかったということがわか
た。そしてい力もあんまりしなかった
から、だいたいのい力がわかりました。
さらに、原爆資料館にあそびもけいも実
体験者からすると、きんいすきうと思っ
た。だから本当はそんな生かさないもの
はかからたということもわかりました。
爆発するだけだと思っていたけどそれ
によるしつけき波もあったということも
放射能も危険で原爆病という病気に
なり、とてもおそろしいものだとい
うことが、あらためてわかりました。
だから戦争はしてはいけないとい
うこともあらためてわかりました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

はじめ、題名の「7000℃の少年」というのを見て、何で7000℃の少年なのかわかりませんでした。けれど話を聞いていながら「7000℃は原爆の温度だ」ということがわかりました。けれど原爆は経験したことはないので、もちろん、写真などでしか様子を見たことがなかった。それで映像をはいめてみて、原爆のはくわが「あれとさ」すごいが、わかりました。また、原子爆弾投下都市の条件があるとは思いませんでした。人口が多き場所には投下することはわかってはいたけれど、直径5kmを超える都市だ」ときいて「わあ、こわい」と思っていたので、その時にもし私が生まれていたら、大都市には住めなくなってしまうと思いました。そして、原爆のリトルボーイは、(1mくらいかな?) と思っていたのが、3.12mもあるということと、重さが約4tもあるのに、飛行機によく乗れるな、と思いました。そして、原爆は時速300kmで落下するところから想像で「まじいスピード」ということになりました。そう思うと、とてもこわくて最後の映像の池田義三さんのように泣きたくなります。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆先生の話をききました。
 広島はリトルボーイというものがおとされて
 人間のかみなどごとくたれたというこ
 ろがありました。ぼくは、なぜ広島にリトルボーイ
 というばくだんがおとされたのかわかり
 ませんでした。リトルボーイがくは「核211」の
 は、小さい原子か少年とくは「核211」の
 が、600mまでおちてきてたせいで100万と、7000と、3000と
 いった高い温度で人間をおこす肉がはか
 おちることを考えたことでも悲しいと思いま
 した。あとリトルボーイは、広島におちるまえに
 風をとめたようにおちてぼくはついで広島は
 もともどかいぼく、さうで広島の人々たちは
 肉をたまたがしてともかわいさうでした。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは今日の戦争学習をして
やっぱり二度と戦争はしては
いけないと思いました。

広島市の40%が死んでしまう
ことにビビッました。

いっしょに目の前の人がかき
しまったり、ものすごいやけどを
おこしてしまうなんて原子爆弾は
本当にこわいものだと思
えておもしろい。

原子爆弾の中に60kgもはいる
1kgかばくはつしただけで
広島市がしょうめつしてしま
っているのにもし60kgす
てかばくはつしたら日本
のほぼ半分はばくはつ
してしまうと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/25

私は今日の特別授業を受講して、テレビや本の中ではわからない、実際の体験談をきかせていただいた。原爆先生のお父さんが、最後に見せてくれたビデオのときに涙しながら話して、そしてメッセージを私たちにたくして、後世に伝えていってほしいという思いから、当時17歳だった少年の心を一瞬のうちに傷つけ、60年以上たった今でもせんに覚えていふことを知って体験はしていけないけど、とてもしょうがきの大きかった物であったことはわかった。物理的には人だけれど、どうしても人のようなと言いきるおえない姿になるまで、やけどをした人でした。70年前とは考えられません。実際に広島に行ったときにビルが林立している中の一角にある平和記念公園に訪れました。しかし、あのような被害があったとは想像もつきませんでした。そしてこう考えました。池田義三さんが涙ながら

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

に話していただいたことを、後世につたえていく義務があると、考えます。そして、悲劇をくり返さないためにも決して忘れてはならない物だと思ひました。

おそらく、池田義三さん体験した恐怖は私たちの今日のきょうかよりもと比べたら大きいものだからのかわかりしれません。また、原爆をおとしたアメリカのチベット大佐はどのように思っていたのか不思議です。今この世の中を変えようためには二つのことか大切です。

一→目は、戦争をおこしてしまった原因を調べそのふうなことをおこさないためにはどうすればいいのかわかること。

二→目は、当時の人材何をたいてんしたのかということ。なぜなら資料館の女性でも残ってくたつのに、まじりあせるといっていた言葉からはずれず、回りしれないものだからということのかわかります。

日本の未来をになう私たちかじいつをわかって社会のことについてまて、この後につづく日本をして世界について考えるべきです。

今日はあんなにゆかっただけでいい機会になりました。ゆたしは話してくたした原爆先生と涙を拭きに話した先生のお父さんをして、この村の場をもうけてくたした学校の先生に感謝したいです。平和な日本、世界をつくるために私の夢は公務員です。正しいことを人々に伝えていきたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは言葉をきいて原火暴のとき池田義三さん
たちの到着がいまのころとトラックの人
がいていてというところがびっくりしました
どちらかがいているだけでいいというのにど
っちもいまのころというところがすごいと思
いました。

衝撃波が音速をえるとききたとき
はやはりすごかったです。

人がきえてしまえばいざらを見たときま
くもっていきみがわからずいみをせつめて
もらったのみにすごびっくりしました炭にな
って熱風できえるなんてことがあつたこと
と思いました。

昔の人のレプリカを池田義三さんがみたとき
きれいなまじると言ったということにたいして
びっくりしましたレプリカでもこれいけ
どレプリカがきれいなまじるといふことは本物
の入を考えるときもちがわるくなりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

ぼくは今日の池田先生のお話をきいてほしいとおなじ
 ようにお母さんお父さんに話したくなるほど特別授業を
 受けたと思いました。ぼくは今までテレビで見た子の墓などを
 遊びで見ました。でも今日の授業でその日幸の苦しさが原爆で
 被害を受けた人の痛みが話しても伝わってきました。池田先生が泣
 きながら話していた動画は心がいたみました。そのことを
 まとめてお母さんお父さんに話してみたらぼくと同じような
 感想でした。子どもから大人まで「これだけ苦しみを受けると
 死んだらいい」といって池田先生に外国の子もたち
 に戦争の話をしてもらいたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆先生の話を聞いて、一番思ったのは「原爆。てごわい」戦争をおこさないでほしい」ということです。

それに、今は、この原爆よりもはるかにつよい、何倍ものいかりがあるか、いまいきかあると知りました。もしその爆弾が日本におちたら日本はどうなってしまうのでしょうか。

原爆をおとしたのはアメリカのB29。この時、広島は曇一つないかいせいたそう。投下の条件がすべてそろっていた広島は、8:15に予定地より200mほどづれた場所、原爆が投下されました。広島の人たちは、ある人は小かけでやんでいると、前に親子が手をつないでいると、白い光がきたゆかんに、親子がいなくなったそう。また、ある人は会社かあくのま^{あわて}まていると、白い光とともにすわっていた黒いかけたけかのこいたそう。

パラシュートではさげていない。それはラジオゾンテ"というもので、広島人口の35万人の内、死者は14万人、被爆者は24万人だそう。死亡率40%で、5人に2人が死亡するそう。

だから私はせうたいに今後戦争をしてはいけないうちに強く思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

1/25

実際に戦争に行ったり、被爆したりして、大勢の命が一瞬にしてうばわれた戦争の悲惨さがよく分かる授業でした。

特に、本やインターネットでは見えない戦争の実情を知ることができたと思います。

今当たり前前に生きているこの世界が70年前には一日を生きるのに精一杯なのだなと思いました。こうして普通に暮らしていることそのものが幸福であるのかもしれませんが、多分まだまだ生きるであろう私たちが戦争の悲惨さを後世に伝え、大勢の人々をあとかたもなくうばいさる戦争が再発しないように次世代に伝えていくことが最も大切であると思います。

私は、この特別授業を受講して、日常生活を改めてみようと思います。一つ目は、言葉です。普段簡単に発している言葉の一つかとても重みのある言葉なのだと痛感しました。

二つ目はものを簡単に捨てないことです。物資を得るのに大変苦勞した70年前とちがい、ものにおほれている今は不必要になら何でも捨ててしまいます。ですが、そういう小さいことを積み重ねていって、ようやく戦争の被害者と同じ目線に立てると思うので、大変だけとがんばりたいと思います。